

右／光明寺(箕面市西小路)のイチヨウ
樹齢およそ四百年。箕面市で唯一、
大阪府天然記念物指定の樹木である。
左／業師堂(箕面市止々呂美)のスキ
余野川沿いの国道からよく見える
地区のシンボルツリー的な存在。いずれも
年輪が醸し出すみことな風格を誇り、
表紙を飾るにふさわしい樹容である。

まちなみの中の 指定樹木 マップ



指定樹木〔箕面市指定保護樹木〕とは
樹齢百年を超えるような巨木や、その地域のシンボル
となるような由緒のある樹木、古い樹林を、
所有者の申請によって市が指定するものです。
保護のための費用の一部が市から補助されます。
そうして巨樹や樹林を守っていくために、
所有者は大変な努力をされています。

箕面市登録NPO団体

みのお市民まちなみ会議

みのお市民まちなみ会議



これまで5冊に分けて発行していた『まちなみの中の指定樹木マップ』を一冊にまとめました。箕面市を五つの地域に分け、道順、目標物、樹々の説明をセットにしたウォーキングラリー風のガイドです。あらためて取材を行い、画も文も改訂しました。

初版から十数年、樹木にも周囲のまちなみも変化がありました。その後指定された樹木もあれば、いろいろな理由で伐られた樹木もあります。そして、これらの樹木を次世代に伝えるために、私たちになにができるかを改めて考えました。

箕面のまちなみの中で年輪を重ね、われわれの営みを見つめてきた樹々や樹林を巡り、箕面の歴史に触れる散策をお楽しみください。

指定樹木マップのエリア案内



西部北コース 02~07

阪急箕面駅を起点に、ぐるりと歩いて約7.3キロ2時間ほどのコースです。

駅から箕面山のふもとと温泉町、古い家並みが連なる西小路、田園が残る新稲と、それぞれに趣の異なる地区をラリーするコース。「みのお市民まちなみ会議」による樹木めぐりの出発点となりました。

西部南コース 08~14

阪急牧落駅からぐるりと回って牧落駅へ戻る約6.5キロ、2時間のコース。

西国街道沿いの牧落、百楽荘、瀬川や、稲荷社古墳など歴史を感じさせるまちなみ…、そして大正から昭和にかけてつくられた桜ヶ丘、桜など住宅街の落ち着いたたたずまい。桜井駅を起点にすれば、経路には大正住宅改造博覧会跡のモダンな洋風建築群があり、一見の価値があります。

東部北コース 15~20

箕面駅を起点に山麓線を東へ。片道約8キロ、3時間のコースです。

山麓線沿いの箕面東・北地区(如意谷、坊島から粟生間谷まで)を歩きます。古い歴史のある地区であり、点在する社寺の境内には名木・古木も多く、歴史を訪ね歩くルートとしても興を誘われます。山麓線はいわゆる「パノラマ街道」とも呼ばれるとおり、南に眺望が開け、北に山なみが迫るすばらしい景観です。

東部南コース 21~25

小野原バス停から西国街道を西へ。稲バス停まで約7キロ、2時間半ほど。

西国街道沿いの小野原、粟生新家、今宮、西宿、萱野、稲を巡ります。ここは個人宅の古木が多く、また指定樹林は、古くから信仰の対象であった鎮守の森が多いのが特徴です。街道沿いの落ち着いたまちなみも魅力。箕面市の《オレンジゆずるバス》で、東部南コースの〈バス停=小野原旧街道〉を起点にすると便利です。

止々呂美コース 26~31

下止々呂美バス停を起点に往復約3キロ、1時間ほどのコース。

箕面市の北部、余野川沿いに美しい農村風景が残る止々呂美地区。歴史の古い山村だけに、のびのびと枝を張っている古木が実にみごとです。箕面ダムの東側から高山へ出る道や、ダムの西側を通って林道止々呂美線を経由する道もあり、いずれも見晴らしのよい峠越えが楽しめます。

西部北コース [箕面・西小路・新稲] 1

阪急箕面駅を出発点として、箕面・西小路・新稲地区の指定樹木を巡ります。約7.3㎞、2時間くらいの行程です。ぜひ大樹のあるまちなみを散策してみてください。きっと新しい発見があります。まちなみと、それを見守ってきた樹々に、箕面の歴史が刻まれています。

それぞれの樹木についている番号は市の指定番号です。樹高などの数値は指定当初のものです。

樹木 52 榎 ケヤキ ◆高さ/25.0m ◆周囲/2.25m

◆所在地/箕面8-1-1 マンション(ネパール産箕面)内

箕面駅から滝道をすこし登ると左側に、新しいマンションがある(ここにはもと「箕面つる家」という料亭があり、玄関に通ずる朱塗りの橋があった)。マンションの入口を入って正面、箕面川にかかる橋のほとりに大きなケヤキ《52》が枝を広げて立っている。堂々たる巨樹である。画は橋を渡って対岸のマンションの通路から画いたものである。

このケヤキの南側に、これも大きいもう1本のケヤキ《13・西川家》があるが、これはあとで下流の対岸から見ることにしよう。



マンションのケヤキ 52

樹木 11 榎 ケヤキ ◆高さ/18.0m ◆周囲/3.05m

樹木 12 粗榧 アラカシ ◆高さ/13.0m ◆周囲/2.62m

◆所在地/温泉町1-1 スーパーガーデン入口

滝道に戻ってもう少し登ると、「箕面温泉スーパーガーデン」の入口にくる。その入口に、手前にケヤキ《11》と、後ろにアラカシ《12》が立っている。いずれもしめ縄が結ばれており、大樹に神が宿するという日本人の心情を示している。

ケヤキも立派であるが、このアラカシは堂々たる古木である。むかし、勝尾寺詣での人々を、いまは温泉客を変わず見守ってくれていると思うと、手を合わせたくなる。



スーパーガーデンのケヤキ 11

スーパーガーデンのアラカシ 12

樹木 14 榎 モミ ◆高さ/15.0m ◆周囲/2.54m

樹木 15 山桃 ヤマモモ ◆高さ/14.0m ◆周囲/2.52m

◆所在地/箕面2-5-27 西光寺の境内



西光寺のモミ 14

スーパーガーデン入口からさらに滝道を登ると、一の橋の手前で右に折れて戻る坂道がある(西江寺の標識あり)。その道を進むと、みのお聖天・西江寺に出会う。西江寺は7世紀、役行者小角(えんのおづめ)の開基と伝えられる古刹である。

境内の角に聖天宮の鳥居があり、その横にモミ《14》がそびえている。道に面した側は枝が落とされているが、堂々たる姿である。

境内の石段を上がると、本堂の横に、穏やかな表情の大きなヤマモモ《15》がある。これも枝が落とされているが、切り跡の瘤(こぶ)の、不思議な造形が面白い。



西光寺のヤマモモ 15

樹木 13 榎 ケヤキ ◆高さ/23.0m ◆周囲/3.18m

◆所在地/箕面1-4-13 西川家の裏庭

西光寺から古いまちなみが懐かしい中の坂(箕面川取水場から取った清流が流れている)を下って箕面駅に戻り、駅の西側から中衛橋か徳尾橋で箕面川を渡る(次頁地図参照)。中衛橋あたりから川上を見ると、さきほどマンションのケヤキ《52》の横にあった西川家のケヤキ《13》が、いちだんと高く見える。とくに葉の落ちた冬は、梢の小枝の一つ一つがくつきりと見えて、樹形が美しい。画も中衛橋からの眺めを描いたものである。

西川家のケヤキ 13



樹木 50 楠 クスノキ ◆高さ/14.0m ◆周囲/2.20m

樹木 51 榎 モミ ◆高さ/15.0m ◆周囲/2.54m

◆所在地/箕面8-1-3 寒山寺の境内

中衛橋からスーパーガーデンの方に行く道を、川沿いに上がると左に折れて、寒山寺の門前になる。臨濟宗松雲峯寒山寺、名前はいかめしいがモダン